

会長就任のご挨拶

戦略研究学会会長 赤木 完爾

2023年4月の学会大会において、皆様のご推戴を受け、新たに会長に就任いたしましたので、この際一言ご挨拶申し上げます。

戦略研究学会が創立されたのは2005年であります。以来、今日に至るまで当学会は活発な研究活動を続けてまいりました。学会機関誌『戦略研究』は当初年報として、現在は年2回の刊行を維持し、現在までに第32号まで発刊されております。また年次大会は今年で21回を数え、加えて毎年、特別講演会や研究会等を実施しているところです。

学会の設立趣旨にあります通り、軍事を根幹として、経営など周辺分野をも包括した戦略の総合的研究をめざすのが、本学会の目的であります。20世紀後半から今日に至るまで、安全保障戦略と経営戦略が著しい学問的発展を遂げて参りましたことは改めて指摘するまでもありません。私どもの学会の活動も、その発展の一端を担ってきたと自負するものであります。

戦略研究は、安全保障問題への取り組みを中心として発展してまいりましたが、他方でテーマや問題の性格が異なるとはいえ、経営戦略においても研究には通底する部分があることは改めて指摘するまでもありません。それはおおよそ、目的と手段・方法を様々に関係させる過程を考察することであるとも言えましょう。

このことを踏まえると、戦略研究の最大の特徴は、研究がきわめて学際的に進められることでもあります。このため、学会のめざすべき役割は、何よりも学会員相互の自由闊達なアイデアの交換を可能にする取り組みであると考えております。様々な学会の事業を通じて、こうしたことを実現したいと考えております。

加えて、学会員の研究の成果は、論文として学会誌に掲載されることとなります。掲載される論文のさらなる質の向上についても、学会全体として取り組みたいと考えております。

皆様のご理解とご支援を是非ともお願い申し上げます。

2023年5月